

# 令和元年度 政策づくり塾 第2回活動報告

5月31日に、第2回政策づくり塾を開催いたしました。

事務局から舞鶴市の現状と課題についての講義が行われた後、グループに分かれてディスカッションを行いました。

## 事務局からの講義

政策づくり塾事務局から、「舞鶴市の現状と課題～第7次総合計画について～」をテーマに講義が行われました。舞鶴市とはどのようなまちなのかを人口推移やまちの歴史から学びました。その後、舞鶴市の特徴を活かしたまちづくりを行うにあたり、現在、どのような取組を進めようとしているのか、まちの将来像について、第7次総合計画を通して知識を深めました。

講義後、各塾生から以下のような意見を聞くことができました。

### ◆講義後の主な意見、感想

- 舞鶴市の良さの1つとして自由さがあること、時間の流れが穏やかな点が挙げられると思う。その良さを知ってもらえれば舞鶴市に戻る若者も増えると思う。
- 小さいころから「舞鶴市は良い所がたくさんある」と教えることが大切だと思う。親世代が舞鶴市の良さをもっと伝えていけば、自然と地元に戻りたいと思う人も増えてくると思う。
- 全国的に見ても舞鶴湾ほど穏やかな海は少ない。この特徴は大学で舞鶴を離れて改めて実感した。このように、他の地域よりも優れている所を、今後さらにPRしていくとよいのではないかと思う。



▲講義の様子

## グループワーク

事務局からの講義後、各塾生が考える舞鶴市の課題とは何か、また、その課題を解決するために、私たちはどのようなことができるのかについて、ディスカッションを行いました。2つのグループに分かれ、各グループでディスカッションを行った後、どのような意見があげられたのかについて発表を行いました。それぞれのグループからは、主に以下のような意見があげられました。

### ◆主な意見

#### (課題①)

- 学生に舞鶴市での就職情報が伝わっていない。

#### (解決策①)

- 学生に対してSNSを通じた情報発信など、現代のツールを用いた情報発信を行い、見てもらう工夫をしたらよいのではないか。
- 気軽に参加できる交流会を実施すればよいのではないか。就職説明会のようなかたい雰囲気のものではなく、例えば就職に関する茶話会を開き、高校生が普段の仕事の様子や生活スタイルなど、気軽に質問できるようにしていけばよいのではないか。

#### (課題②)

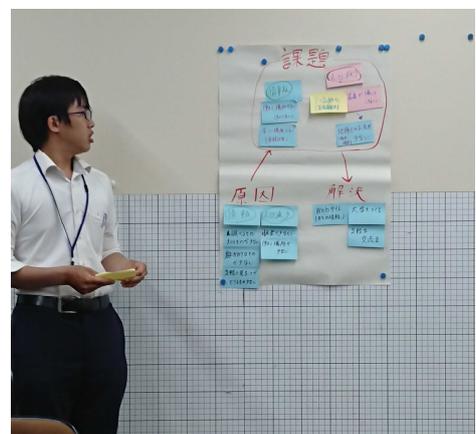
- 軍港のまちとして発展した東舞鶴、城下町として発展した西舞鶴の歴史をもっと活用できるのではないか。

#### (解決策②)

- 異なる時代の特徴を1つのまちで見ることができるまちなので、国内のみならず、海外からも注目してもらえる可能性があると思う。ネットを活用した情報発信や専用ページの作成など、多くの人が情報を手に入れられるよう、工夫するとよいのではないか。



▲グループワークの様子



▲発表の様子